

Vol 01

## 夏休み後から本番までの過ごし方 入試で使えるテクニック



まだ暑さの残る8月29日。この日は夏休みを終えた3年生に向けて、これからの受験勉強について授業が行われました。受験勉強に邁進している生徒たちに、伊藤講師・布施川講師から受験に向けての心構えとともに激励の言葉をいただきました。

**今あるモヤモヤを可視化しよう！**

受験勉強を頑張っている生徒たちに向けて、伊藤講師はこう話しかけました。

「みなさん、夏休みを終えた今、どんな心境でしょうか？ 受験勉強が十分できたと思いますか？ それとも時間が足りないと思いますか？」。

伊藤講師が生徒たちに挙手を求めたところ、「時間が足りない」と感じている生徒が圧倒的に多いよう。夏休みを終えた今、少し焦りを感じている様子が見て取れます。

この答えはある程度想定内だったようで、伊藤講師はこう続けます。

「やはり、時間がないと思っている人が多いですね。そう思っているのは他の受験生も同じです。」

伊藤講師いわく、夏休みに計画通りに受験勉強できなかった人は多いそう。ここで伊藤講師が生徒たちに伝えたかったのは、不安を可視化することでした。

「今不安を感じている人は受験に本気で向き合っている人です。なぜ不安なのかモヤモヤしている事柄を具体的に書き出してみてください。これからやるべきことが見えてくるはずです。」

伊藤講師からの激励は、生徒たちの心にも響いたよう。みんなまっすぐな瞳を伊藤講師に向け、決意を新たにしました。





生徒たちの士気が上がったところで、伊藤講師はこう切り出しました。

「受験生はここからが勝負の時です。学習方法や学習計画など見直して最善を尽くしてください。最後まで努力を続けた人だけが志望校に合格できます。」

「これからは、志望校の出題の傾向を把握したうえで、どう時間配分すればいいのか、どんな問題を押さえればより点が取れるのか、そのポイントをつかむことが志望校合格へのカギになります。具体的な対策を考え実行していきましょう。」

そして伊藤講師が高校 3 年生のときにつくった学習計画や学習方法を見せてもらい、生徒たちからは思わず驚きの声が上がります。東大生も必死に努力して志望校に合格したことがわかり、モチベーションが上がったのでしょう。みんなの瞳がより輝きを増したように見えました。

「受験本番まであと 4 か月。みんなが最後の力を出し切り、描いた未来をその手に掴めるよう、心からのエールを送りたいと思います。」

伊藤講師の最後の言葉は、生徒たちの心に大きく響いたことでしょう。

### 【伊藤講師からのコメント】

高校 3 年生の生徒さん向けに、夏休み後の過ごし方と受験で使えるテクニックについて、陥りやすい思考 2 パターンを切り口として講義しました。6 月の短期集中講座をベースに、今回も各科目について、学習内容や勉強法の自己点検（現状分析）と、受験までのスケジュールの確認と計画づくり（方法論構築、時間設定）をワークの主題としました。生徒さんたちに向けてはワークを自力で完成させ、習慣化することに意味があると強調し、さらに体験談を交えて説得力を上げる工夫を心がけました。受験生ということもあり、全員が集中して講義に参加している様子が見られ、ワークも 6 月よりも充実していました。生徒さんたちが今回お伝えした方法を柔軟に変えながら実践し、受験に立ち向かってくれたら嬉しいです！

### 【布施川講師からのコメント】

生徒の皆さんは自分でやるべきことがわかっているはずです。全力でやるべきことを片付けて、自分ができることを増やしてみてください。きっと目標に大きく近づけるはずです。受験勉強は自分自身との戦いであり、自分の人生に本気になったときから「受験生」になります。もちろん、みなさんは「受験生」だと思います。決して「受験体験コース生」ではありませんよね。ならば、やるべきことはひとつです。自分に足りない技能から必要なタスクを洗い出して地道にこなしていただくだけです。ここからの戦いも頑張ってください。



## Study It Yourself

やらされる勉強から「やりたい勉強」へ  
行ける大学ではなく「行きたい大学」へ